

「平成18年度診療報酬改定に係る検討状況について（現時点の骨子）」  
に対する意見募集の結果の概要について

1. 意見の募集方法

意見募集期間：平成18年1月18日（水）～平成18年1月27日（金）  
 告知方法：厚生労働省ホームページ  
 意見提出方法：電子メール、郵送

2. 寄せられた意見の総数

(1) 受付数

電子メール	郵送	合計
3,722通	351通	4,073通

(2) 意見の概要（延べ意見数6,462件）

- ・「平成18年度診療報酬改定に係る検討状況について（現時点の骨子）」（以下「現時点の骨子」という。）の各項目にわたって意見があり、特に「I－4 生活習慣病等の重症化予防に係る評価について」のうち、禁煙指導に係る診療報酬上の評価に係る意見、「I－2 医療費の内容の分かる領収書の発行について」に係る意見が多かった。
- ・この他、「IV－7 その他」のうち、後発医薬品の使用促進に関する意見が比較的多かった。
- ・「現時点の骨子」の各項目ごとに寄せられた意見数の内訳は以下のとおり。

I 患者から見て分かりやすく、患者の生活の質（QOL）を高める医療を実現する視点

- |                           |        |
|---------------------------|--------|
| I－1 診療報酬体系の簡素化について        | 144件   |
| I－2 医療費の内容の分かる領収書の発行について  | 737件   |
| I－3 患者の視点の重視について          | 167件   |
| I－4 生活習慣病等の重症化予防に係る評価について | 1,146件 |
| I－5 手術に係る評価について           | 126件   |

II 質の高い医療を効率的に提供するために医療機能の分化・連携を推進する視点

- |                         |      |
|-------------------------|------|
| II－1 在宅医療に係る評価について      | 338件 |
| II－2 初再診に係る評価について       | 382件 |
| II－3 DPCに係る評価について       | 69件  |
| II－4 リハビリテーションに係る評価について | 351件 |

II-5 精神医療に係る評価について	117 件
II-6 その他	103 件

**III 我が国の医療の中で今後重点的に対応していくべきと思われる領域の評価の在り方について検討する視点**

III-1 小児医療及び小児救急医療に係る評価について	124 件
III-2 産科医療に係る評価について	57 件
III-3 麻酔に係る評価について	26 件
III-4 病理診断に係る評価について	24 件
III-5 急性期入院医療に係る評価について	186 件
III-6 医療のIT化に係る評価について	159 件
III-7 医療安全対策等に係る評価について	169 件
III-8 医療技術に係る評価について	176 件

**IV 医療費の配分の中で効率化余地があると思われる領域の評価の在り方について検討する視点**

IV-1 慢性期入院医療に係る評価について	199 件
IV-2 入院時の食事に係る評価について	131 件
IV-3 コンタクトレンズに係る診療の評価について	246 件
IV-4 検査に係る評価について	103 件
IV-5 歯科診療報酬について	163 件
IV-6 調剤報酬について	85 件
IV-7 その他	934 件

(参考)

意見募集対象外の意見（「現時点の骨子」の各項目以外の意見）	316 件
(主な意見の内容)	

- ・医療及び医療保険制度全般に関する意見
- ・改定率に関する意見
- ・意見募集の方法に関する意見 等

※意見募集対象外の意見については、延べ意見数に含まない。